

# 2018年度 全国大学生の環境活動

全国ユース環境ネットワークは、全国大学生環境活動コンテスト実行委員会に協力をいただき、今年も「全国大学生環境活動コンテスト」の共催をし、「近畿地区大学生 SDGs セミナー」、「全国大学生 SDGs セミナー」を実施しました。

大学生の環境活動は、事業計画から実施まで大学生が主体になり実践しています。また、SDGsにも取り組み、特に地域の方々や行政、企業などと連携し、環境教育を進めているのも大きな特長です。

本誌では、「第16回 全国大学生環境活動コンテスト」、「近畿地区大学生 SDGs セミナー」に参加いただいた大学団体の環境活動事例を掲載しています。今後の活動の参考に、大学同士での情報交換や交流の一助としてご活用ください。

(協力:全国大学生環境活動コンテスト実行委員会)



第16回 全国大学生環境活動コンテスト



近畿地区 大学生SDGsセミナー

## 北見工業大学

### 環境保全学生委員会 KITeco

大学や周辺地域を対象に市民と学生が生活やすい環境を作る活動を行っている。日常生活で何気なく行っていることが実際にエコなのかを検証し、数値化・データ化し、SNSなどで発信。また、週に一度、大学構内のゴミ拾いをし、ポイ捨て削減に効果的であるという仮説でプランター活動を推進。今年はゴミ計測と名を変えて活動している。



## 日本工業大学

### 学生環境推進委員会

4つの方針に基づき、地域に住民の方々と協力して日々活動をしている。①学生に環境に関して興味を持てもらう、②学生に環境に関して活動をしてもらう場をつくる、③学校から町、町から学校への活性化、④学生による環境マネジメントの推進。具体的には、リサイクルショップ、宮代町民祭り安全美化委員会、たばこ清掃などを実施している。



## 芝浦工業大学

### 石垣島をもっと元気にするプロジェクト

サンゴの白化・死滅の要因である過度な赤土流出の問題を改善しサンゴ礁保全を行う活動をしている。サンゴ礁保全の意識啓発と緑肥推奨を目的にイベントを開催、小中学生へのサンゴ礁保全の授業。さらに、今年度は関東圏の人々に石垣島のサンゴ礁の現状や活動を知ってもらい、石垣島に興味を持つてもらうべく学園祭で特産品などを販売した。



## 早稲田大学

### 学生環境NPO環境ロドリゲス

やまなび(環境×里山)、えこのわぐま(環境×早稲田)、たまっこ(環境×川)、ecosMILE(環境×教育)、Dream Connecton(環境×進路)、Re-Cover(環境×商品開発)、REC(環境×地域活性)の7つのテーマで活動している。例えば、福井県鯖江市での小学生への環境教育、千葉県君津市鹿野山での里山整備など。大学でのビラ拾いやゴミの分別指導は団体全体で取り組んでいる。



## 学生団体

### emfactory(インカレ)

EcoなMoneyを作り出すfactoryになりたいという想いで、「環境とビジネスの軸を持った人材を輩出する」を理念に掲げている。中野区観光協会と提携し、近年注目の食品ロス食材の販売を今年は3回実施。環境ビジネス企業へのインタビューや、児童・園児への環境教育も実施。「学生の環境意識の向上」を目的に大学生向け環境ワークショップも開催している。



## 東京農業大学①

### 学生環境団体 いそべや

学内における環境意識の啓発、地元児童への環境教育を通年で行い、夏合宿ではゴミ拾いボランティア活動を実施している。通年企画は、①学校の生協と協力して学生向けの活動をする「生協企画」、②地元の子供向けイベントでワークショップを開く「エコ梅」企画、③合宿とボランティアを兼ねた「海ごみ企画」、④収穫祭での「収穫祭企画」を実施。



## 東京農業大学②

### ボランティア部

父島では、小笠原の固有種を守るために、外来種であるモクマオウ、アカギ等の伐採を行う。固有種の「オガサワラグワ」をシンボルとした村民参加型の森づくりにも取り組む。母島の外来植物の駆除活動を行う。小笠原の美しい海を守るには、固有種が存在する山や森の自然を守らなければならない」という危機意識を島民の皆さんと共有したい。



## ICU サステナブルキャンパス委員会

### 学生ワーキンググループ SUSTENA

ICUキャンパスの自然豊かな環境で、主にICU生の環境意識を高め、自然環境について考えるきっかけを作る活動をしている。大学食堂でティクアウト容器に利用しているリリパックを回収。回収率は80%を超えており、E-weeksでの自然観察会と映画鑑賞会、地域活動への参画と地域の他団体との交流も実施している。

